

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)茅ヶ崎物流センター	階数	地上2F
建設地	神奈川県茅ヶ崎市小桜町1607番1	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法第22条地域	平均居住人員	70人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年7月 予定	評価の実施日	2018年7月12日
敷地面積	18,479 m <sup>2</sup>	作成者	大和ハウス工業株式会社厚木支社建築一級建築士事務所
建築面積	9,812 m <sup>2</sup>	確認日	-
延床面積	19,541 m <sup>2</sup>	確認者	-



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.9** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外のオンサイト手法 ④上記+オフサイト手法

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境 (スコア: 0.0)  
Q2 サービス性能 (スコア: 3.8)  
Q3 室外環境 (敷地内) (スコア: 3.5)  
LR1 エネルギー (スコア: 4.0)  
LR2 資源・マテリアル (スコア: 3.3)  
LR3 敷地外環境 (スコア: 3.5)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.6**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 0.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.8

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 3.5

### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.6**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.5

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
地域性に配慮しています。西側に緑道を整備して、地域貢献しています。国道1号側には松の植樹を計画し、街の文化(東海道)の貢献。	-
Q1 室内環境	Q2 サービス性能 階高を高く設定し、壁長さ比率を小さくすることにより、空間にゆとりをもたせている。
Q3 室外環境 (敷地内)	周辺建物と調和した外観とし、また道路境界に緑地帯を設け建物の圧迫感を軽減するなど、まちなみ・景観へ配慮している。
LR1 エネルギー 太陽光発電設備、LED照明を採用するなど、設備システムの高効率化に配慮している。	LR2 資源・マテリアル フリーアクセスフロアを採用するなど、部材の再利用可能性向上への取り組みをしている。
	LR3 敷地外環境 燃焼器具を採用せず、大気汚染の防止に配慮している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される